

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 2020年 12月 29日

事業所名：とんとん

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	施設内空き部屋の使用も必要に応じて行いスペースの確保を行っている。	・はい 27名/38名中 ・どちらともいえない 7名/38名中 ・わからない 3名/38名中 ・走ったり運動したりするスペースあると思う。 ・見学した際少し狭く感じた。	
	2 職員の適切な配置	基準以上の配置を行っている。 また、その日の利用者に合わせて必要に応じて職員の増員も行っている。	・はい 30名/38名中 ・どちらともいえない 1名/38名中 ・わからない 7名/38名中 ・職員の人数はつきり知りません。	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	視覚化を行い、利用児にわかりやすく工夫はしているが、バリアフリー化は賃貸のため難しい。	・はい 31名/38名中 ・どちらともいえない 2名/38名中 ・わからない 5名/38名中	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	新たに空気清浄機付きの冷暖房を取り付けた。	・はい 30名/38名中 ・どちらともいえない 3名/38名中 ・わからない 6名/38名中	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	改善改革委員会を設置し毎月1度話し合いを行っている。	/	
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現状は行っていない。	/	
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	年間計画を作り、毎月1度研修を行っている。	/	
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	行っている	・はい 36名/38名中 ・どちらともいえない 2名/22名中	
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	行っている		
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	行っている		・はい 35名/38名中 ・どちらともいえない 2名/22名中 ・わからない 1名/22名中

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	話し合いの場を設け、支援計画に沿った支援と見直しを行っている	<ul style="list-style-type: none"> ・はい 33名/38名中 ・どちらともいえない 3名/38名中 ・わからない 2名/38名中 	
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	毎月担当を決め、詳細を会議の場で話し合い全体共有を行っている。		
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	前月に翌月の予定を決める際に長期休暇・休日の内容の話し合いを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・はい 36名/38名中 ・わからない 2名/38名中 ・毎日内容が変わっていると思う。 	
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	各カリキュラムごとに担当を2か月毎に変更し、固定化しない工夫を行っている。		
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼・ノートを使い全体共有を行っている。		
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後は送迎等で全員が集まれないため、申し送りノート・朝礼の使用、管理者への報告等で行っている。		
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	必要に応じ、経過記録・申し送りノートの記載を行い、改善方法・支援方法の共有を行っている。		
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	行っている。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	主に代表が参加しているが、必要に応じ複数名での参加をしている。		
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要に応じ行っている。		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	必要に応じ行っている。		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	全職員を対象に参加者を募り、研修に参加できるように促している。		
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	コロナ禍もあり難しいことが多かった。	<ul style="list-style-type: none"> ・はい 4名/38名中 ・どちらともいえない 4名/38名中 ・いいえ 6名/38名中 ・わからない 20名/38名中 ・不満や不安は全くありません。 	地域との繋がりを持つことを継続し、交流ができるようにしていきたい。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	コロナ禍もあり難しいことが多かった。		

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	その都度必要に応じて行っている。	・はい 38名/38名中	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	行っている。	・はい 37名/38名中 ・どちらともいえない 1名/16名中	より、丁寧な説明が出来るよう心掛ける。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	相談があった場合には実施しているが、全体としてはコロナ禍もあり当年は行えなかった。	・はい 15名/38名中 ・どちらともいえない 6名/38名中 ・いいえ 6名/38名中 ・わからない 11名/38名中	保護者会の実施が出来るようになれば内容に組み入れたい
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や必要に応じ電話等で行っている。	・はい 36名/38名中 ・どちらともいえない 2名/38名中	
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	その都度必要に応じて行っている。	・はい 33名/38名中 ・どちらともいえない 5名/38名中 ・いいえ 4名/38名中 ・わからない 1名/16名中 ・育児や進路等に相談に乗っていただき感謝しております	
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	当年は行っていない。	・はい 23名/38名中 ・どちらともいえない 4名/38名中 ・いいえ 2名/38名中 ・わからない 8名/38名中	コロナ禍が落ち着き次第、保護者会の再開を検討する
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	連絡システムを徹底し、出来る限り迅速に対応している。	・はい 17名/38名中 ・どちらともいえない 8名/38名中 ・いいえ 2名/38名中 ・わからない 10名/38名中	
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	視覚化・物の配置の工夫などを行い過ぎしやすい場の提供を心掛けている	・はい 33名/38名中 ・どちらともいえない 3名/38名中 ・わからない 1名/38名中	
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月通信を発行している。 連絡事項等は都度別紙にて配布。	・はい 25名/38名中 ・どちらともいえない 4名/38名中 ・いいえ 2名/38名中 ・わからない 2名/38名中 ・児童デイサービスの時に貼って下さっていた写真をたまたま貼ってもらえたら嬉しいです。	児童発達は写真にて日々様子を伝えられているが、放デイに関しては時間的に余裕がなく毎日出来ない。 イベントごとなどの際は写真添付ができるように検討していく。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	鍵付き書庫を用意し管理している。	・はい 33名/38名中 ・どちらともいえない 2名/38名中 ・わからない 3名/38名中	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	策定しており、見直しも当年行った。 保護者への報告は契約時のみになっている。	・はい 30名/38名中 ・どちらともいえない 3名/38名中 ・いいえ 1名/38名中 ・わからない 3名/38名中	保護者への周知に関して不十分なところがあるので通信にて研修内容の報告を行うことで充当していく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に1度、防災・避難訓練をそれぞれ1度研修を行っている。	・はい 18名/38名中 ・どちらともいえない 2名/38名中 ・わからない 17名/38名中	上記と同じく、通信にて実施していることと必要事項を記載する
	3	虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	虐待防止の研修は年に少なくとも2回行い、改善改革委員会を設置し、毎月問題点を抽出し改善するための会議を行っている。		
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	現在までに拘束が必要な場面はない。		
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	アレルギーがある場合は、おやつは持参してもらい調理実習などの場合は事前にご家族様に確認し、対応を徹底している。		
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットの重要性について共有し、内容については毎月の会議にて共有している。		